

**授業概要**

南西アジア・南アジア地域におこった文明が、東西に伝播し、変容し、定着していく歴史を講義する。さらに南西アジア・南アジア地域が、近代以降、西欧文化圏からの軍事的、思想的影響を受けて、変革を迫られる過程について講義する。

**授業計画**

第1回	文明の形成 メソポタミア文明、エラム文明、インダス文明
第2回	交易路の形成①オアシス路
第3回	交易路の形成②ステップ路
第4回	交易路の形成③南海路
第5回	「宗教」の成立
第6回	「宗教」伝播と変容
第7回	西方イスラーム世界 アフリカ北西部からイベリア半島
第8回	テュルク系三帝国の繁栄 オスマン朝、サファヴィー朝、ムガル朝
第9回	東洋の衝撃
第10回	大伝道時代
第11回	アジアの富
第12回	貿易の構造変化
第13回	力関係の転換
第14回	ヨーロッパの病人
第15回	まとめ
第16回	筆記試験またはレポート

**到達目標**

- ①現在この地域のもつ民族、文化の重層的多様性の背景が理解できる。
- ②この地域の歴史を知ることにより、現在この地域がかかえる問題の背景が理解できる。

**履修上の注意**

アフリカ地域の文化に関しては、第7回のイスラームの伝播との関わりで扱う。

**予習・復習**

授業計画に従って、大学図書館などで基本的な知識を予習する。講義後は、プリントと参考文献を読んで知識を深めておくこと。

**評価方法**

授業中の態度、リアクショペーパーの内容 50%、学期末の筆記試験またはレポート 50%

**テキスト**

テキストは使用しない。授業中にプリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。